



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

東

上場会社名 株式会社 F i n a t e x t ホールディングス 上場取引所
コード番号 4419 URL <https://hd.finatext.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 C E O (氏名) 林 良太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 伊藤 祐一郎 (TEL) 03(6265)6828
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,282	40.2	816	62.7	790	61.1	780	89.0
2025年3月期第3四半期	5,192	42.9	501	—	490	—	413	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 932百万円(117.7%) 2025年3月期第3四半期 428百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	15.20	14.83
2025年3月期第3四半期	8.17	7.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,344	10,738	43.8
2025年3月期	19,026	9,627	47.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,782百万円 2025年3月期 8,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	42.8	1,870	96.8	1,840	95.0	1,210	83.4	23.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	51,893,340株	2025年3月期	51,300,212株
2026年3月期3Q	58株	2025年3月期	1株
2026年3月期3Q	51,354,775株	2025年3月期3Q	50,544,290株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものにすることを目指しております。

今般、グローバルな経済環境の影響を受け、日本経済も見通しが不透明な状況が続いています。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度末以降、金融インフラストラクチャ事業において新規パートナーの導入に伴うフロー収益の増加と既存パートナーのサービス成長に伴う従量課金収益の増加、ビッグデータ解析事業において新規事業の立ち上がりに伴うフロー収益の増加により、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,282,231千円（前年同期比40.2%増）、営業利益816,614千円（前年同期比62.7%増）、経常利益790,016千円（前年同期比61.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は回収可能性が認められた繰延税金資産の増加に伴う法人税等調整額の計上などにより780,580千円（前年同期比89.0%増）となりました。

なお、当社グループの売上高はお客様の予算執行の関係により、契約上の納期が下期に集中する傾向が高いため、上期における売上高に比べ下期の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供しております。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第3四半期連結累計期間においては、新規パートナーへの開発支援によるフロー収益と投資一任サービスを提供するパートナーの顧客が保有するAUMの拡大等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。サービスの初期開発については、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社がデジタル証券取引サービス「ASTOMO」を、IFA法人MK3株式会社が「DWM」を活用し投資信託などの運用サービスを開始しました。この結果、「BaaS」上での稼働サービス数は25サービス（前連結会計年度末時点：19サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向け、当社グループの保険基幹システムである「Inspire」の機能拡充に注力しました。当第3四半期連結累計期間においては、「Inspire」の初期導入開発によるフロー収益が売上高の拡大に寄与しました。初期導入については、SBI損害保険株式会社に「Inspire」を導入しました。この結果、「Inspire」の導入企業数は16社（前連結会計年度末時点：11社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャ「Crest」の基盤開発に注力しました。当第3四半期連結会計期間においては、JCOMフィナンシャル株式会社が「Crest」を導入しました。この結果、「Crest」上での稼働社数は5社（前連結会計年度末時点：2社）となっております。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャビジネス、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は4,471,991千円（前年同期比49.2%増）、セグメント利益は471,382千円（前年同期比91.8%増）となりました。

(ii) フィンテックシフト事業

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメント「フィンテックソリューション事業」について事業内容をより明確に表現するため、「フィンテックシフト事業」に名称を変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

フィンテックシフト事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、システム構築を支援した既存顧客向けに追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のフィンテックシフト事業の売上高は1,025,274千円（前年同期比4.0%増）、セグメント損失は101,122千円（前年同期は37,833千円のセグメント利益）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを主に金融業界及び不動産業界向けに提供するデータサービスビジネス、生成AIの活用を支援するデータAIソリューションビジネスを行っております。

データサービスビジネスでは、昨年度にリリースした不動産業界向けソリューションである「DataLensHub」の機能拡充を行いました。

データAIソリューションビジネスでは、昨年度から新規事業として開始し、データウェアハウスから業務アプリケーションの開発まで網羅的に支援できる体制の構築を行いました。

以上の結果、データサービスビジネスの「DataLensHub」とデータAIソリューションビジネスで新規顧客の獲得が伸長し、当第3四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は1,784,965千円（前年同期比47.5%増）、セグメント利益は336,411千円（前年同期比57.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は22,344,815千円となり、前連結会計年度末に比べて3,317,867千円増加いたしました。

流動資産は20,796,425千円となり、前連結会計年度末と比較して2,716,480千円増加いたしました。これは主に、営業貸付金が1,479,840千円、証券業における預託金が1,535,000千円、証券業における短期差入保証金が905,325千円増加した一方、現金及び預金が733,075千円、証券業における立替金が773,068千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は1,548,389千円となり、前連結会計年度末と比較して601,386千円増加しました。これは主に、通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し回収可能性が認められた繰延税金資産の計上により投資その他の資産が295,491千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は11,606,256千円となり、前連結会計年度末と比較して2,206,482千円増加いたしました。

流動負債は10,836,345千円となり、前連結会計年度末に比べて2,010,005千円増加いたしました。これは主に証券業における預り金が1,331,768千円増加したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は769,910千円となり、前連結会計年度末に比べて196,476千円増加いたしました。これは長期借入金が172,946千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,738,558千円となり、前連結会計年度末に比べて1,111,384千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が780,580千円、新株予約権が129,044千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,454,730	3,721,654
売掛金	1,536,870	1,611,616
契約資産	236,353	270,027
営業貸付金	2,763,316	4,243,156
買取債権	110,910	68,034
証券業における預託金	6,066,000	7,601,000
証券業における信用取引資産	87,258	69,881
証券業における短期差入保証金	1,092,110	1,997,435
証券業における立替金	957,389	184,320
未収入金	518,291	617,854
その他	274,692	462,355
貸倒引当金	△17,979	△50,911
流動資産合計	18,079,945	20,796,425
固定資産		
有形固定資産	77,956	131,126
無形固定資産	520,621	773,347
投資その他の資産	348,425	643,916
固定資産合計	947,003	1,548,389
資産合計	19,026,948	22,344,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,314	40,547
契約負債	196,539	325,017
未払金	661,980	492,238
証券業における預り金	5,313,369	6,645,138
証券業における受入保証金	5,149	3,293
1年内返済予定の長期借入金	532,800	800,200
未払法人税等	226,263	99,731
賞与引当金	-	116,717
短期借入金	600,000	-
信託型ストックオプション関連損失引当金	7,139	-
その他	1,250,783	2,313,462
流動負債合計	8,826,340	10,836,345
固定負債		
長期借入金	467,800	640,746
資産除去債務	42,160	65,690
固定負債合計	509,960	706,436
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	63,474	63,474
特別法上の準備金合計	63,474	63,474
負債合計	9,399,774	11,606,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,088	183,012
資本剰余金	12,285,908	12,310,832
利益剰余金	△3,509,517	△2,728,936
自己株式	△0	△73
株主資本合計	8,934,478	9,764,834
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,581	17,747
その他の包括利益累計額合計	12,581	17,747
新株予約権	155,960	285,004
非支配株主持分	524,153	670,971
純資産合計	9,627,174	10,738,558
負債純資産合計	19,026,948	22,344,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,192,480	7,282,231
売上原価	1,845,080	2,391,174
売上総利益	3,347,399	4,891,056
販売費及び一般管理費	2,845,572	4,074,441
営業利益	501,827	816,614
営業外収益		
受取利息	2,814	7,452
受取配当金	5	-
その他	3,557	6,175
営業外収益合計	6,377	13,627
営業外費用		
支払利息	9,341	19,157
為替差損	6,865	15,683
その他	1,653	5,384
営業外費用合計	17,859	40,225
経常利益	490,345	790,016
特別利益		
新株予約権戻入益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
減損損失	7,733	-
金融商品取引責任準備金繰入	1,719	456
信託型ストックオプション関連損失	2,501	-
特別損失合計	11,954	456
税金等調整前四半期純利益	478,392	789,559
法人税、住民税及び事業税	104,104	160,539
法人税等調整額	△48,265	△293,294
法人税等合計	55,838	△132,754
四半期純利益	422,553	922,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,453	141,733
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,100	780,580

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	422,553	922,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	-
繰延ヘッジ損益	3,600	-
為替換算調整勘定	2,128	10,250
その他の包括利益合計	5,734	10,250
四半期包括利益	428,287	932,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,354	785,746
非支配株主に係る四半期包括利益	9,933	146,817

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	1,787,792	—	—	1,787,792	—	1,787,792
保険インフラストラクチャ ビジネス	704,992	—	—	704,992	—	704,992
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	169,094	—	—	169,094	—	169,094
マーケティングビジネス	—	78,356	—	78,356	—	78,356
ソリューションビジネス	—	907,762	—	907,762	—	907,762
データサービス (金融)	—	—	897,872	897,872	—	897,872
データサービス (不動産)	—	—	74,880	74,880	—	74,880
データAIソリューション ビジネス	—	—	237,036	237,036	—	237,036
顧客との契約から生じる 収益	2,661,879	986,119	1,209,790	4,857,788	—	4,857,788
その他の収益	334,692	—	—	334,692	—	334,692
外部顧客への売上高	2,996,571	986,119	1,209,790	5,192,480	—	5,192,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,996,571	986,119	1,209,790	5,192,480	—	5,192,480
セグメント利益	245,714	37,833	213,877	497,425	4,401	501,827

(注) 1. セグメント利益の調整額4,401千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額4,401千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	2,667,955	—	—	2,667,955	—	2,667,955
保険インフラストラクチャ ビジネス	892,219	—	—	892,219	—	892,219
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	328,786	—	—	328,786	—	328,786
マーケティングビジネス	—	97,147	—	97,147	—	97,147
ソリューションビジネス	—	928,126	—	928,126	—	928,126
データサービス (金融)	—	—	920,634	920,634	—	920,634
データサービス (不動産)	—	—	189,555	189,555	—	189,555
データAIソリューション ビジネス	—	—	674,775	674,775	—	674,775
顧客との契約から生じる 収益	3,888,960	1,025,274	1,784,965	6,699,200	—	6,699,200
その他の収益	583,030	—	—	583,030	—	583,030
外部顧客への売上高	4,471,991	1,025,274	1,784,965	7,282,231	—	7,282,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,471,991	1,025,274	1,784,965	7,282,231	—	7,282,231
セグメント利益又は損失 (△)	471,382	△101,122	336,411	706,670	109,943	816,614

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額109,943千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額109,943千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第3四半期連結累計期間より、報告セグメント「フィンテックソリューション事業」について事業内容をより明確に表現するため、「フィンテックシフト事業」に名称を変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称により作成したものを記載しております。

(収益の分解情報の区分変更)

当第3四半期連結累計期間より、当社グループの事業構造の変化等を踏まえ、収益の分解情報の区分ごとの業績をより適切に反映させるため、「データライセンスビジネス」、「データ解析支援ビジネス」から「データサービス（金融）」、「データサービス（不動産）」と記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	82,849 千円	123,327 千円
のれんの償却額	－ 千円	6,228 千円